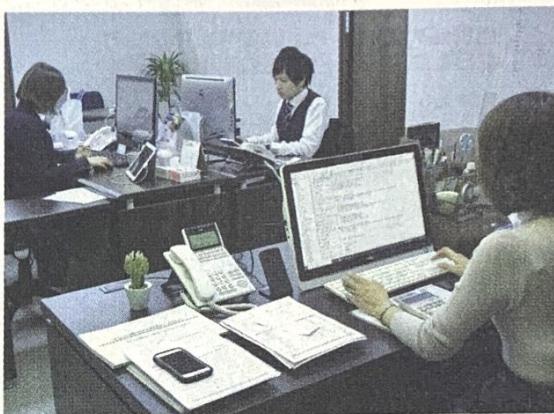


明日を拓く経営

東海で頑張る中小企業

外国人の派遣などを手掛ける燕システム（本社名古屋市中区錦、李燕社長、電話052・211・8383）は、特定技能者の紹介事業に乗り出した。東海3県の企業に、ニーズに合った外国人を紹介する。人手不足が深刻化する日本企業からの需要を取り込む。（倉科信吾）

燕システム 特定技能者の紹介開始



特定技能者のデータを整理するスタッフら

一定の技能水準と日本語能力を持つ外国人が対象で、有資格者は14業種の分野で5年間日本に滞在し働くことができる。

同社は6月1日付

政府は企業の労働力不足に対するため、4月に在留資格「特定技能」を創設した。

同社は、日本在住の外国人まで、月次報告書の代行作成サービスも展開する。

外国人派遣登録者2千人

企業ニーズに幅広く対応



クライアントに説明する
スタッフ(右)

も派遣すれば特定技能者の能力を發揮しやすい」と考える。

また、同社のオンラインシステムによって、採用候補の

特定技能者と日本の企業採用担当者の面接もセッティングできる。採用担当者は日本にいながら面接できるため、出張費用を省ける。燕システムはこのサービスを無料で提供し、採用に至った場合に紹介料を支払つもらう。

同社が紹介する特定技能者の国籍は、中国のほか、ベトナム、ミャンマー、カンボジア、モンゴル、ネパール、フィリピンの7カ国にのぼる。

日本で働きたいと希望する外国人の需要は高い。日本在留

は「企業の要望に合わせ、特定技能者の仕事が軌道に乗ることもできる。李社長は「日本と国際化に貢献したい」と話して